

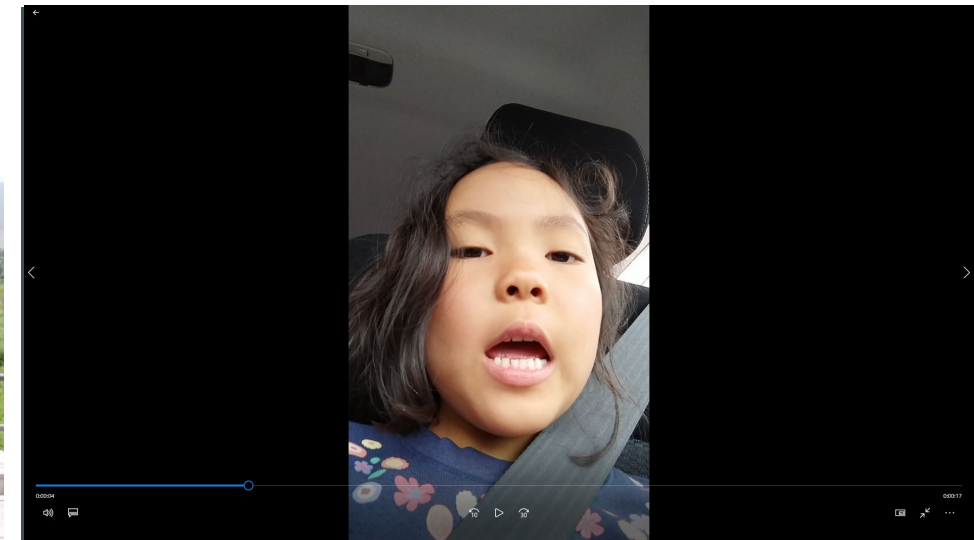
大学は出たけれど...

—日中大学生就職事情—

高知大学教授
高橋 俊

略歴

- ・1972年 宮城県名取市生まれ
- ・仙台→金沢→札幌→高知
- ・1997～1999 上海・華東師範大学に留学
- ・2004年4月に高知大学に赴任
- ・「中国語」「現代中国社会文化論」「人文社会科学と職業」「スタディツアー」「文系学問とAI」等の授業を担当
- ・本来の専門は、中国現代文学



高知大学で、就職担当

- ・就活をしたことがないのに、消去法で。
- ・以前は、企業をまわって「うちの学生をよろしくお願いします」
- ・今は、企業さんの方から来てくれる。
- ・「企業紹介の授業」の日程調整係。
- ・そこから、「日中の大学生の就職活動」に研究テーマを移す

働くこと

- 生活の基本
- 形態は様々だが、多くの人は働いている



しかし、働き方は 国によって様々

日本：長時間労働、サービス残業…

- 有給・育休・産休が取れない

→諸外国では考えられない

→「働き方改革」でようやく休みが確保

→さらに、昨今の「売り手市場」も。



日本：メンバーシップ型

- 「会社」や「組織」に就職する
- 会社内・組織内で異動を繰り返す
- スペシャリストよりもゼネラリスト
- 「会社」のやり方に慣れる
- 転職したら、一から学び直し
- 仲間意識を重視



メンバーシップ型

「仲良くする」ことが求められる

- 同僚と波風立てないことが重要
- すなわち、「コミュ力」が重要
- 面接で聞かれるのも、多くの要素は「コミュ力があるか」
- 「バイトやサークルで仲間をいかにまとめたか」「困難にどう対処したか」
- 何度も何度も面接をする

一方…

世界の多くはジョブ型

- 「どんな業務をやるか」が重要
- スキルを重視（経理、営業、SE etc…）
- どの会社・組織で働くかは、そこまで重要ではない
- 業務内容が明確
- 特に若いうちは転職するのが前提



日本

「転職」が好まれない

- ・ 同じ組織に居続けるのが基本
- ・ 日本では、生涯で平均3社



同じ会社に長くいるのが基本

- 同じ会社・組織にいると自然に出世・昇給していく
- 転職は給料ダウンになることも多い
- 「新卒カード」

中国は？

- 転職が当たり前
- 同じ会社に長くいるのは「無能」
- 大卒で勤めたら、長くて2年
- 大卒者の離職率：1年で3割
(日本は3年で3割)

職場に思い入れはない

- 「割り勘での飲み会」はほとんどない
- パーティーや社員旅行は、すべて会社持ち
- 「なんで自腹を切って会社の飲み会に出なきゃいけないの？」

会社も、従業員を大事にしない

- ・「辞めたきゃ辞めれば？」
- ・OJTなど存在しない。即戦力のみ。
- ・ある意味で「使い捨て」

**会社も社員も、
お互いに相手に期待していない**

転職は、ステップアップ

- ・ ステップアップ(昇給)の手段は、基本転職のみ
- ・ ゆえに、業務そっちのけで転職活動に精を出す

「やりがい」などは考慮しない

- ・ 条件は「給料」のみ
- ・ より条件のいい会社を求めて、転職を繰り返す

日本:「ミスマッチ」を嫌う

- 入学でも就職でも、「ミスマッチ」が忌避される
- 「石の上にも3年」
- 「我慢すれば、そのうちいいことがある」
- 就活イベントも「ミスマッチはダメ」「そのためにしっかり業界研究や自己分析をしろ」
- 転職を繰り返す人＝「誤ち」を繰り返す人

面接では 「人間性」を問われる

- 「何ができるの？」はあまり聞かれない
- 「これまでどんな困難に直面し、それをどうやってぐり抜けたか」
- それによって、「ピンチでどういう行動を取る人間か」を見る



「一緒に働ける人間か」を見る

資格や留学は、それほど評価されない

- 「ないよりはあったほうが」程度
- むしろ、「あれもこれもできる」は、「自慢」「嫌味」と捉えられる

中国：経験が大事

- 面接では「これまでどんな仕事をしてきたか」「どんなスキルがあるか」を聞かれる
- 多くの職場で経験を積むのが前提・推奨
- 「多くの職場を経験しないと何が自分に合うかどうか分からない」
-

中国:「新卒者」は不利

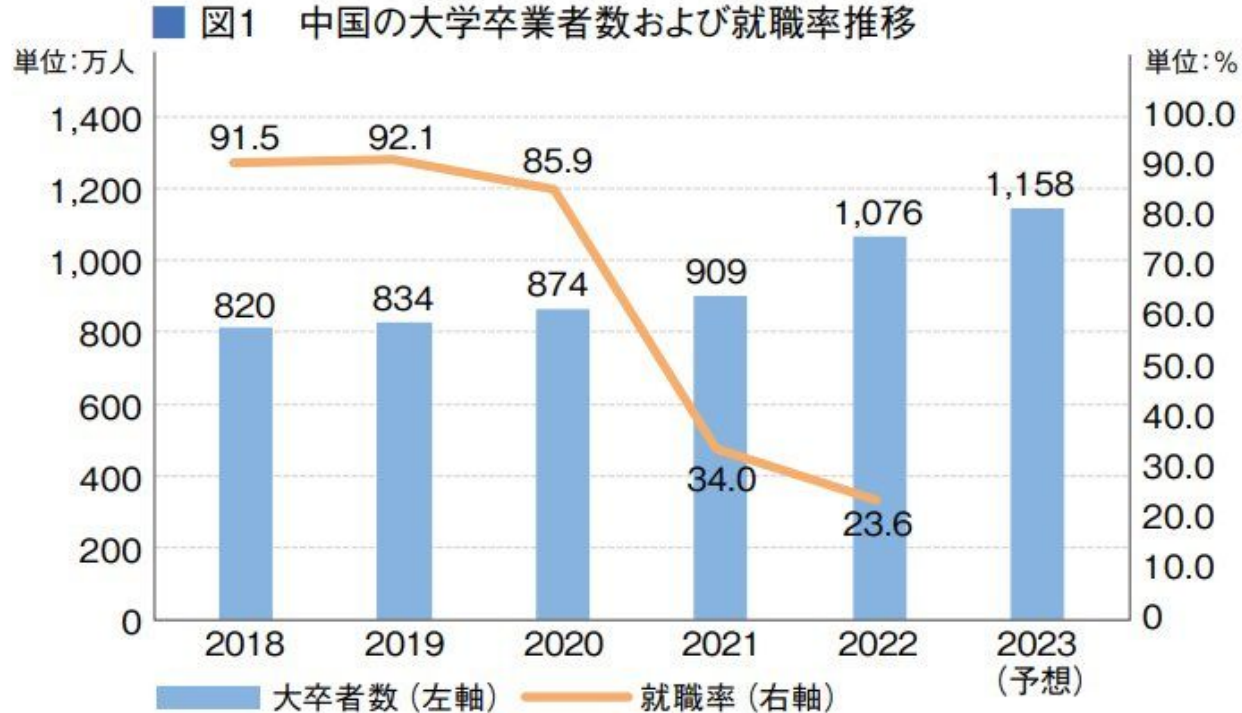
- ゆえに、インターンシップで「無給労働」を行い、認めてもらうしかない
- ・ 1年にも及ぶ「インターンシップ(実習)」
- ・ 大学の4年、大学院の3年はほぼインターンに費やす
- ・ 「新卒カード」の日本と対照



コロナが追い打ち

- ・ 中国→コロナによるシャットダウン(「封鎖」)
をしっかりと行う
- 消費の減退、不景気
- 大学生の空前の就職難

<https://x.com/shenmacro/status/1684828367294763008>



出所: 中国教育部、中国国家统计局のデータを基に作成

令和6年度 学部卒業生就職等進路状況(令和7年5月1日現在)

全学部

区 分		卒 業 者				就職希望者				就 職 者 内 訳										☆1	☆2	就職未定者内訳				進学者		就職を希望しない学生				☆1	☆2
		県内		県外		県内		県外		県内						県外				就職率 (%)	進学希望者 を除く 就職希望者 に占める 割合 (%)	企業等	公務員	教 員	大学 専攻科	専攻科を除く 進学者のうち 大学・短期 大学・専門 学校・職業 訓練校等	専攻科を除く 就職希望者 のうち 公務員・教 員・民間企 業・その他	不明	R5年度 就職率 5.1現在 (%)	R6年度 就職率 5.1現在 (%)			
										企業等		公務員		教 員		企業等		公務員													教 員		
		計	277	81	196	252	60	192	247	58	33	23	2	189	148	35	6	98.02	92.86	5	0	0	0	8	3	9	5	0	96.05	89.02			
人文社会科学部 (人文学部)		男	116	23	93	103	24	79	98	22	17	5	0	76	60	13	3	95.15	88.29	5	0	0	0	5	0	5	3	0	97.80	87.25			
		女	161	58	103	149	36	113	149	36	16	18	2	113	88	22	3	100.00	96.13	0	0	0	0	3	3	4	2	0	94.89	90.28			
教 育 学 部		計	130	49	81	122	45	77	121	44	12	6	26	77	23	6	48	99.18	96.03	1	0	0	0	4	0	4	0	0	98.33	95.93			
		男	59	20	39	56	18	38	56	18	8	2	8	38	12	3	23	100.00	98.25	0	0	0	0	2	0	1	0	0	98.25	96.55			
環 工 学 部 (環 学 部)		女	71	29	42	66	27	39	65	26	4	4	18	39	11	3	25	98.48	94.20	1	0	0	0	2	0	3	0	0	98.41	95.38			
		計	208	48	160	122	26	96	116	25	8	11	6	91	66	14	11	95.08	88.55	6	0	0	0	76	1	6	3	0	96.40	85.60			
医 学 部		男	161	40	121	92	22	70	86	21	6	10	5	65	45	13	7	93.48	86.00	6	0	0	0	60	1	5	3	0	95.12	83.87			
		女	47	8	39	30	4	26	30	4	2	1	1	26	21	1	4	100.00	96.77	0	0	0	0	16	0	1	0	0	100.00	90.63			
医 学 部		計	173	48	125	168	66	102	168	66	55	7	4	102	88	13	1	100.00	98.25	0	0	0	0	2	0	3	0	0	100.00	94.92			
		男	77	24	53	76	31	45	76	31	26	5	0	45	36	9	0	100.00	98.70	0	0	0	0	0	0	1	0	0	100.00	89.86			
農林海洋学部		女	96	24	72	92	35	57	92	35	29	2	4	57	52	4	1	100.00	97.87	0	0	0	0	2	0	2	0	0	100.00	98.15			
		計	184	22	162	118	19	99	118	19	12	7	0	99	77	16	6	100.00	95.93	0	0	0	0	59	2	2	3	0	95.87	93.55			
地域協働学部		男	122	13	109	79	12	67	79	12	7	5	0	67	49	12	6	100.00	95.18	0	0	0	0	38	1	2	2	0	94.74	91.14			
		女	62	9	53	39	7	32	39	7	5	2	0	32	28	4	0	100.00	97.50	0	0	0	0	21	1	0	1	0	97.78	97.78			
土佐さきがけ プログラム		計	55	19	36	53	20	33	53	20	14	6	0	33	27	6	0	100.00	98.15	0	0	0	0	1	0	0	1	0	95.59	91.55			
		男	19	5	14	18	6	12	18	6	3	3	0	12	9	3	0	100.00	94.74	0	0	0	0	0	0	0	1	0	94.12	88.89			
土佐さきがけ プログラム		女	36	14	22	35	14	21	35	14	11	3	0	21	18	3	0	100.00	100.00	0	0	0	0	1	0	0	0	0	97.06	94.29			
		計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-----	-----	0	0	0	0	0	0	0	0	0	100.00	100.00			
合 計		男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-----	-----	0	0	0	0	0	0	0	0	0	100.00	100.00			
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-----	-----	0	0	0	0	0	0	0	0	-----	-----				
合 計		計	1,027	267	760	835	236	599	823	232	134	60	38	591	429	90	72	98.56	94.49	12	0	0	0	150	6	24	12	0	97.18	91.58			
		男	554	125	429	424	113	311	413	110	67	30	13	303	211	53	39	97.41	92.39	11	0	0	0	105	2	14	9	0	96.77	89.04			
		女	473	142	331	411	123	288	410	122	67	30	25	288	218	37	33	99.76	96.70	1	0	0	0	45	4	10	3	0	97.58	94.17			

※ 本表は、令和7年5月1日現在の学部卒業生の就職状況表である。

(秋季卒業生・早期卒業生を含む)(就職者に期原付採用者を含む)(教員には、専門学校教員・大学教員を含む)(国立大学・公立大学・国立病院機構は法人化されているので企業等に算入)

☆1 就職率=就職者÷就職希望者

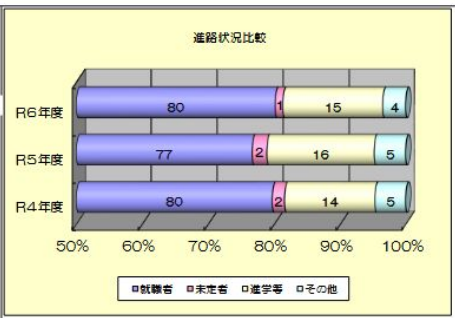
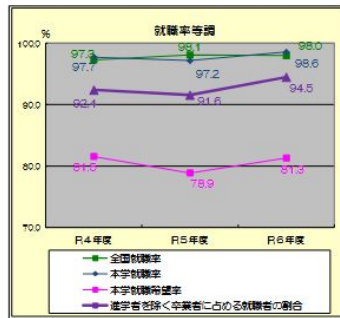
☆2 進学者を除く卒業生に占める就職者の割合=就職者/(卒業生-進学者)

就職未定者とは、就職希望者の内、就職が確定していない者という。

	人文	教育	理	医	農	地域	TSP	計
正採用員数	3	53	5	2	2	0	0	65
臨時採用員数	5	21	12	3	4	0	0	45
計	8	74	17	5	6	0	0	110

過去3年間の5月1日現在の比較表

区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	対前年度比較
卒 業 者	1,084	1,036	1,027	▲ 9
就職希望者	884	817	835	▲ 18
就 職 者	864	794	823	▲ 29
就職未定者	20	23	12	▲ 11
進学者等	149	169	156	▲ 13
非就職希望者	51	50	36	▲ 14
就職希望率	81.55	78.86	81.30	2.44
就 職 率	97.74	97.18	98.56	1.38
進学者を除く卒業生に占める就職者の割合	92.41	91.58	94.49	2.91



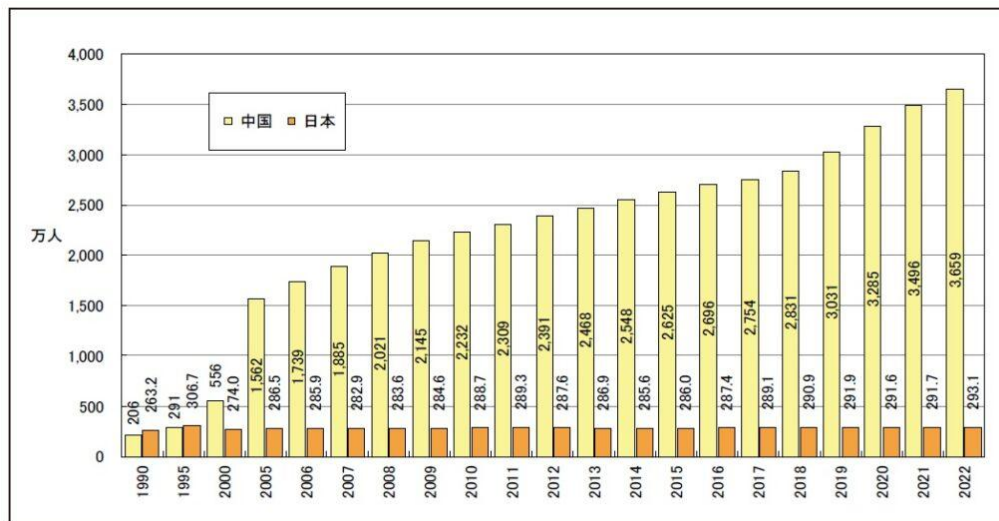
令和6年度 人文社会科学部卒業者就職等進路状

人文社会科学部

コース		卒業 者			就職希望者			就職率 (%)
			県内	県外		県内	県外	
	計	93	30	63	82	23	59	96.34
人 文 科 学	男	45	12	33	38	14	24	92.11
	女	48	18	30	44	9	35	100.00
	計	88	21	67	78	8	70	97.44
国 際 社 会	男	23	3	20	20	1	19	90.00
	女	65	18	47	58	7	51	100.00
	計	96	30	66	92	29	63	100.00
社 会 科 学	男	48	8	40	45	9	36	100.00
	女	48	22	26	47	20	27	100.00
	計	277	81	196	252	60	192	98.02
合 計	男	116	23	93	103	24	79	95.15
	女	161	58	103	149	36	113	100.00

大学(生)の増加も拍車

大学の急増、大学生の急増



出典:「中国統計年鑑」(各年版)、「学校基本調査 年次統計」

<https://china-science.com/univer/university-student/>

大学生の増加と不景気の 相乗効果

- ・ 学部を出ても就職がない
- ・ 仕方なく大学院進学や海外留学へ
- ・ あるいは「自宅待機」
- ・ フリーターという概念はほぼない
- ・ 公務員は倍率数百倍



中国の若者：とても「暗い」

- ・ 子供の頃から猛烈に勉強してきた
- ・ 小学生のうちから朝6時から夜10時まで学校で勉強
- ・ 中学や高校でも、ひたすら勉強
- ・ 部活などはほぼありえない
- ・ 大学も全寮制で、遅刻や欠席は許されない
- ・ **そこまでして頑張ってきたのに、就職がない**

学校に対する恨みも強烈

- ・ 中国：ノルマ文化
- ・ 教員は生徒のテストの成績や進学で厳密に査定される
- ・ 成績の良い／悪いで生徒を露骨に差別
- ・ 「先生？あいつらは人間のクズでした」



親からのプレッシャー

- ・ 求人がないわけではないが、「こんなに頑張ってきたのに、安い給料で働きたくない」という意識が強い
- ・ 親の要求も高く、「そんなところで働いては世間体が悪いからダメ」という

中国:「家族」のつながりが強烈

- ・ オジオバは親も同然、イトコはきょうだい同然
- ・ 一方で、面子も強烈
- ・ 「イトコの誰々はこの大学に進学してこの企業に勤めたのに、なんであんたは」

中国:「親」の影響力が強い

- ・ 就職も、結婚も、すべて「親の意向」
- ・ 日本に留学するのも「親のため」
- ・ ゆえに、閉塞感が強い
- ・ 「自分の人生を生きていない」感
- ・ 「もうこのまま消えてしまいたい」



日本の若者は「明るい」

- ・ プレッシャーがない
- ・ 「親には「好きにしろ」といわれています」
- ・ 中国の若者「なんで日本の若者はこんなに明るくなれるの？」



中国人と日本人の好対照

- 日本は「若者は明るい、中高年は暗い」
- 中国は「若者は暗い、中高年は明るい」



中国人「早く退職したい」

- 「仕事生きがい」などありえない
- 「仕事優先」などありえない
- 仕事は生活のための手段
- 「家族」や「仲間」と一緒に過ごす



日本：定年が70へ

- 中国人：一様に「お気の毒に…」
- 「日本で老人がコンビニ等で働いているのを見ると、可哀想になる」
- 中国：年金がどんどん上がっている
- 「仕事」は、孫の世話

今後、はたして

- フラット化？

ご清聴
ありがとうございました！